

10/14 (木)

司会：上山 幸

テーマ1¹ 一夫一妻 ^{を守るべきか...!?} ~~か 多夫多妻について~~ 由

◎自分自身の考えても可。

- ・一夫一妻制を守る必要もない。(子孫を残すためには...)

②・夫は全員の妻を養うのか?

→ 経済力のある夫のみ、許される。

- ・一夫多妻では男が残る。比率的に。

モテる人はうれ残らないだろう。

↑

経済力もある人。

優秀な人の
遺伝子を残す。

- ・一夫一妻を不偏的とは思わない。(そんな国もあるから。)

- ・一夫多妻

女性1人が1人の子どもしか産まなかったら...!?

- ・気持ちの方を大切にしたい!!

↑
↓

多夫多妻は反対!!

お互いの意見、考えを認め合ったら...??

- ・一対一であつたら相手の気持ちが重い。責任の分散
- ・もし自分が子どもを産めないならば、一夫多妻が良い。
- ・子孫とは...?

自分の子孫?? 日本人、社会としての子孫??

◎逆に『多夫一妻制』についてどう思うか?

↳ 自分の好きな人を他の人にとられたいくない。

×

- ・感情を振るにすれば「一夫多妻」はいいと思う。
・子孫を残すため(経済力さえあれば...)

- ・もし家庭を持っている人を好きになった場合、相手の家庭を壊すにうまくやっていく。

社会的メリットで考えると...!!

- 「多夫一妻」「一夫多妻」は、先進国でも有り得る。
- 「多夫多妻」でも「一夫一妻」を選択できるので自由でも良い。
- 一夫多妻となると夫の面倒を見なくて良いから自由に働ける。
- 被害者の立場だと嫌な面もあるが、逆に、自分の家庭を壊されたい(法的的に)と考えると良いかも。
- 「一夫一妻」のメリットは?
 - ・ 家族意識がより強いと思う。
- 「多夫多妻」は親せきだらけになる。→ いつか血のつながらなくなる人...というニヒも有り得る。
- 必ずしも「結婚 = 子どもを残す」とは限らない。

テーマ2 「命を食べる教育について」

実践例

36時間空腹の中学生が 放し飼いにしているにわとりを捕えて食べた。
(故意的に...)
・ 食べ物のありがたみを感じるように。

賛成派

- ・ 普通の人には殺したくなくて、殺さなくても、陰で、どこかで「誰かが」している。それに気付く。
- ・ 残酷だと分かりやすい。
- ・ 食べ物のありがたさ、大切さに気付きやすい。
- ・ 身近な人の死に触れることが少なくなっている。ゲームの世界でもある。
- ・ 自分でさばくものは絶対に残さない。

反対派

- ・ 動物虐待にもつながり得る。
 - ・ 残酷すぎてトラウマになる。
 - ・ 殺すシーンまでは見せなくても良い。
 - ・ 植物でもできるのでは??
 - ・ 全員が、殺して食べる。食べ物のありがたさに気付くとは限らない。
- 食べられてはならない子どももいる。

○子どもの実態にたいして

○36時間の空腹。この状況におかれたら、ありがたみも分かるのでは？

○「全ての子どもに有効じゃないと やってはいけない」というのはあんまり…。

例えば、鶏肉を食べられなくなる子もいても…。

○この目的を果たす他のやり方は思い当たらない。

○植物性で「命」という目的まではいかない。

○米、植物…とかではショックがおきない。

○逆に産(生)まれる ではないのかな…!?

「自分の生まれた時の様子を親に見聞る。」

○空腹を体験することに^人意義がある。